育成会　かわさき

知的障害者親の会　会報　№216
2025. 5. 1

強度行動障害の状態にある人への支援について（寄稿）

全国手をつなぐ育成会連合会
常務理事兼事務局長　又村　あおい 氏

近年、強度行動障害の状態にある人や子ども（以下、強行児者）の地域生活支援体制をどうやって構築していくのか、全国各地で課題となっています。ここでは、国の「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会」（以下、検討会）の報告書を下敷きに、強行児者への支援について取り上げたいと思います。

なお、強度行動障害については、「障害」と呼称されているものの、周囲の環境や関わり方によって大幅に状況が変化する（あくまで状態である）ため、国の資料でも「強度行動障害の状態にある」という表記を用いています。

（強度行動障害の状態像）検討会報告書では、強度行動障害のことを「自傷、他害、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「状態」である」と定義しています。そして「強い自傷や他害、破壊などの激しい行動を示すのは重度・最重度の知的障害を伴う自閉スペクトラム症の方が多く、自閉スペクトラム症と強度行動障害は関連性が高い」としています。

（強行児者への支援施策）現時点で展開されている強行児者への支援施策としては、行動障害に対応した外出支援サービスである「行動援護」の実施や障害福祉サービスにおける加算が挙げられます。障害支援区分の調査で把握する「行動関連項目」において２４点満点中１０点以上となる場合に、行動援護の対象となるほか、重度障害者支援加算（児童の場合は強度行動障害児（特別）支援加算）が算定できるようになります。特に各種の加算は令和６年４月の報酬改定で大幅に引き上げられており、強行児者を積極的に受け入れている事業所では大幅な報酬増となりました。

しかし、こうした支援施策はあるものの、事業所や支援者の不足などを背景として、実際の支援にはつながっていないケースも多く、障害福祉サービス等につながっていない強度行動障害を有する者は１自治体当たり０.５人、障害福祉サービス等につながっているがニーズを満たされていない強度行動障害を有する者は１自治体当たり２.９８人というデータが示されています。

（国の検討会報告書から見えてくる地域支援体制の整備）

こうした状況を踏まえ、検討会報告書では強行児者に対する地域支援体制の整備に向けて大きく６点の方向性を示しています。

（１）支援人材のさらなる専門性の向上
（２）支援ニーズの把握と相談支援やサービス等に係る調整機能の在り方
（３）日常的な支援体制の整備と支援や受入の拡充方策
（４）状態が悪化した者に対する「集中的支援」の在り方
（５）こども期からの予防的支援・教育との連携

（２Ｐにつづく）

（6）医療との連携体制の構築
このうち、特に重要となるのが（1）と（4）です。（1）については、強行児者の特性を正しく理解し、根拠のある「標準的な支援」をチームで行うことを基本として、予防的な観点も含めて人材育成を進める方向となっています。ここでいう「標準的な支援」とは、「個々の障害特性をアセスメントし、強度行動障害を引き起こしている環境要因を調整する支援」と定義されています。そして、標準的な支援を踏まえて適切な支援を実施し、組織の中で適切な指導助言ができる現場支援で中心となる「中核的人材」や、困難事例について中核的人材等に対して指導助言が可能な、高度な専門性により地域を支援する「広域的支援人材」を育成する方向が示されており、実際に養成研修も進められています。
それぞれに求められるスキルは次のとおりです。

【中核的人材に求められるスキル】
（1）自閉スペクトラム症の特性･学習スタイルを説明できる・構造化の意味を説明できる
（2）機能的アセスメントが実施できる
（3）家族の不安等を理解し共感に基づく信頼関係が構築できる・特性を活かした支援を提案できるなど
※　強度行動障害を有する者の支援に取り組む各事業所に配置される想定で育成

【広域的支援人材に求められるスキル】
（1）地域の事業所を支え、対応力を強化する
（2）地域の支援体制づくりを牽引する
（3）支援マネジメント、組織マネジメント　など
※　地域の強度行動障害を有する者の人数等の地域実態を踏まえて、都道府県等の広域で必要数を想定して育成

（4）については､｢集中的支援｣として､特に状態が悪化してしまった強行児者を対象に､「広域的支援人材」が事業所等を集中的に訪問等して適切なアセスメントと有効な支援方法の整理を共に行い、環境調整を進めていく方法や、入所施設あるいはグループホームなどへ一時的に環境を変えて、有効な支援方法を整理した上で元の住まいや新たな住まいに移行する方法が示されています。

こうした取組みは基本的に都道府県単位で進めていくこととなります。
しかし川崎市は政令指定都市であり、その意味では人材育成や「集中的支援」の実施などを主体的に進めていくことが求められます。ぜひ、手をむすぶ親の会としても、神奈川県と連携して市内で支援が完結するような体制づくりを提案していただければと思います

知的障がい児者･発達障がい児者（自閉症児者を含む）の
生サポは 家族の安心を支えます
●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援 ●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。
当会にご入会いただくと、知的障がい児者、発達障がい児者（自閉症児者を含む）のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。
主な補償内容
病気やケガで入院したとき 入院給付金 ※プランによって補償します
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します
虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金（地震・噴火・津波によるケガも対象）
賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償
就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事中事故対応費用補償 ※プランによって補償します
※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。
AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震･噴火･津波危険補償特約セット
保険のお問合せはこちら
■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F
TEL：03-5321-3373 FAX：03-5321-4774
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階
TEL：03-5401-3660
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
ご入会のお問合せはこちら
一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号 神奈川県社会福祉センター5F
TEL：045-314-7716 FAX：045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php
2025年1月現在の内容です。(D-007608 2026-03)

2024年度は9,950名余のご加入ありがとうございました。毎月1日付で加入できます。2025年度もご加入よろしくお願いいたします

令和７年度川崎市への施策要望回答について

副会長　　吉野　明美

３月２６日（水）川崎市から回答を受け取り、意見交換を行いました。

今回も生活介護事業所の送迎確保・グループホーム・相談支援など整備をお願いしましたが、回答としては継続扱いとなり残念です。意見交換の際に、当会からグループホームの支援者の支援の在り方について把握しているか尋ねました。実態を見る頻度を多くし、質の確保や研修もしていくが、事業者の指導に力を入れていくとの回答がありました。

また、相談支援事業について、加算を申請することで赤字にはならないことを周知して事業の拡大につなげてほしいと伝えたところ、人員の配置など要件を事業所が整理する必要があると聞き、ここでも人手不足が課題であると感じました。

公有地に老人施設ができるのではないかという話を耳にしたので、そのような計画があるのならその一角に、障害者の施設を作ってほしいと伝えました。それに対して「現状を把握していないが高齢担当と一緒に参入を促す取り組みをしていきたい」と話されました。

いずれの要望も、まだ実現に至っていませんが、障害児者が安心して地域生活を営んでいけるように、今後も川崎市との対話は大切であると感じました。

『川崎市育成会手をむすぶ親の会　第１３回総会』のお知らせ

総会は代議員制で開催します。支部選出の代議員以外で代議員に応募される方は５月９日（金）までに各支部長までお申し込みください。

【日　時】
令和７年５月２９日（木）
１０時３０分～１２時００分

【場　所】
てくのかわさき２階てくのホール

【議　事】
１、会則改正（案）について
２、令和６年度事業活動報告（案）
３、令和６年度決算報告（案）・会計監査（案）
４、次期役員選出（案）について
５、令和７年度事業活動（案）
６、令和７年度予算（案）

『令和７年　川崎市心身障害児者福祉大会』開催のお知らせ

大会スローガン　　～障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に～

川崎市内の心身障害児者とその家族が安心して暮らせるように、地域福祉の向上と自立を図ることを目的に開催されます。

【日　時】
２０２５年６月２８日（土）
１３時００分～１５時００分

【場　所】
川崎市総合自治会館　ホール
川崎市中原区小杉３－６００
TEL：０４４－７３３－１２３２
コスギサードアヴェニュー４階
(エレベーターをご利用ください)

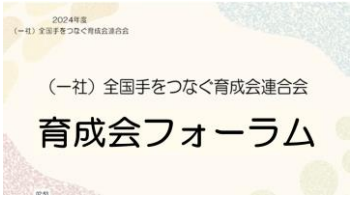
第一部
式　典　（開会、祝辞、大会宣言、閉会）

第二部　（１３時４０分～１５時００分）
講演会
テーマ：「親なきあと問題」
～障がいのある子へのお金の遺し方～
講　師：根本　雄司氏（弁護士）
弁護士法人 港大さん橋法律事務所

＊関心のある方はどなたでもご自由に参加できます。

２０２４年度育成会フォーラム

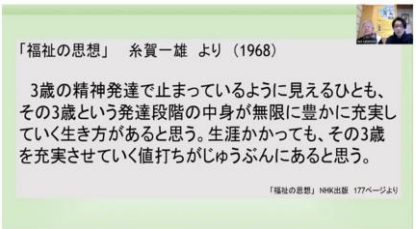
副会長　　加藤　敦子



令和７年４月１日（火）、２０２４年度育成会フォーラムのオンライン配信が開始されました。テーマは、『知的・発達障害のある人の「住まい」や「暮らし」を考える』です。

【ポイント解説】全国手をつなぐ育成会連合会（以下、全育連）
常務理事兼事務局長の又村あおい氏

全ての施設入所者に対して、地域生活への移行や施設外日中系サービスの利用について、意思決定支援に基づく「意向確認」を行うことが今後義務化されます。また、グループホームから一人暮らしを希望する利用者への支援（退去後の一定期間も含む）が事業者側に対して明確化されます。そのために、地域での生活支援体制を根本的に見直す必要があると話されました。また、地域移行を希望する障害者に対して家賃債務保証や生活支援を行う「居住支援法人制度」についての説明がありました。



【事例紹介】支援者の坂本彩さんと７５歳で知的障害のある横川豊隆さんが話をしました。入所施設で知り合ってから２３年、今は２人で講演活動を行っているそうです。１人暮らしでも「長く生きてきた歴史の積み上げ」があるので、時計は読めなくても夜が明けたら起きて朝ドラが始まる前に出かけるといった生活の知恵が身についています。「一人暮らしが楽しい」と言う横川さんには、相談できる人や事業所がいくつもあるとのこと。障害者が地域で自分らしく生きるとはどういうことか、考えさせられる事例でした。

【パネルディスカッション】３名の登壇

１人目は植草学園大学副学長の野澤和弘氏。入所施設における強度行動障害の人の暮らしについて言及されました。強度行動障害があっても地域活動をしながら「ゆたかな生活」を実現できている実例はいくつもあり、家庭や福祉以外での居場所や役割、第三者と日常的な関わりが大切とのこと。人材育成が喫緊の課題ですが、支援者へのアンケートに「学びがたくさんある」「かっこいい仕事である」と答える若いスタッフもいて、このような人材を増やしたいと話されていました。

２人目は全育連政策センター専門委員の片桐公彦氏。入所施設と補足給付の問題点に言及しました。入所施設では年金が月 25,000 円から 28,000 円が手元に残る仕組みだが、グループホーム利用では多くの人が赤字になってしまうという問題点があるそうです。このままでは現状が変わっていかないので、入所施設の補足給付を減額してグループホームの家賃補助を増額するなど、入所とグループホームを「同じような住まい」にする思い切った改革が必要ではないか？という提言でした。入所しても、それまで利用していたサービスの多くを継続できるように義務づけるべきとも話されていました。

３人目は全育連政策センター委員長の高木誠一氏。地域から隔離された「全制的施設」からの脱却について言及されました。一般的な活動が制限されて施設側が作ったルールが日課の基本になっている現在の入所施設の在り方を考える時がきており、入所施設の地域化を進めるべきとの提案がありました。具体的には、移動支援の活用や職住分離（日中は施設外で活動）、高齢化に対応した地域医療体制の強化などです。

最後に、全育連の佐々木桃子会長が入ってのパネルディスカッションでした。障害者の高齢化に伴い、介護保険との関係性や入所施設のあり方など、検討が必要な問題は山積しています。佐々木会長が最後に言われた「親としては、本人が笑顔で自分の意思を尊重した暮らしを望みます」という発言が、多くの親の気持ちを代弁していると感じました。

全国手をつなぐ育成会連合会「令和６年度正会員代表者・事務局長合同会議」報告

会長　　美和 とよみ

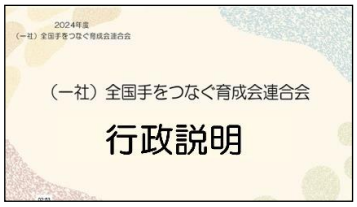
オンラインで開催され、当会は３月１２日（水）午前の部に参加しました。６月の総会に向けた議案書と組織作り等についての会議です。

今回も最大の課題は会員減少です。団体賛助会員の今後の取り組みについて説明がありました。また、「２０２５大阪・関西万博」において、１０月８日（水）から１１日（土）にかけて「障害者の文化芸術国際フェスティバル」開催の事務局としての取り組みについて報告がありました。各所でヒヤリングを行う予定の「知的障害者の組織運営参画等に関する合理的配慮研究事業」については興味深く今後の報告が待たれます。

会員減少による収入減は、全育連だけの問題ではなく、当会の課題でもあります。会員増はもちろんのこと支出の見直しや助成金の申請等を行い、現行の活動が続けられるよう考えていく必要があります。

２０２４年度行政説明会

副会長　　吉野　明美



４月１日（火）～全国手をつなぐ育成会連合会主催の行政説明会が動画配信され、障害者施策の現状と今後の方向性について、各省庁の担当から説明がありました。

１．「特別支援教育の動向」文部科学省初等中等教育局　特別支援教育課

インクルーシブな学校運営モデルの構築など特別支援教育の充実に向けた体制や環境の整備を進めている

２．「成年後見制度の見直し」法務省　民事局

現行の制度は、問題がいくつか指摘されているように利用しづらい制度であるため「一定の期間制を取り入れ必要な時だけ付ける」「成年後見人等の交代を可能にする」等、利用しやすくなるよう検討している

３．「障害者雇用の現状」厚生労働省　職業安定局　障害者雇用対策課

障害者雇用数は２１年連続して増加しているが、実雇用率が法定雇用率を下回ってしまった。対策の一つとして、給付金制度・助成措置・ジョブコーチを置く等、企業側への支援策も講じている

４．「障害保健福祉施策の動向」厚生労働省　社会・援護局 障害保健福祉部　障害福祉課

「障害福祉サービスの予算」「報酬改定」「相談支援事業」「入所者の地域移行」「強度行動障害を有する人への支援」他をテーマごとに説明がありました。

５．「障害児福祉施策の動向」こども家庭庁　支援局　障害児支援課

障害児支援や家族支援などインクルージョンの推進に力を注いでいく

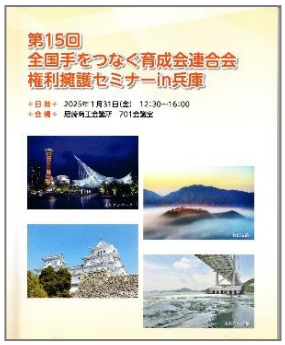
一番印象に残ったのがどの場面でも意思決定支援の推進の必要性があることでした。障害のある人の権利擁護、政策提言に繋げていくために、国の施策や動向に注視していきたいと思いました。

育成会フォーラム・行政説明会は５月３０日（金）までオンライン配信されています。会員は無料で視聴できますので、関心のある方は支部長に連絡、またはＨＰよりお問い合せください。

ホームページは
「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。

第１５回全国手をつなぐ育成会 権利擁護セミナー（in 兵庫）

会計　　梅田　順子



１月３１日（金）会場とオンラインとのハイブリッドで開催されました。当会はオンラインで参加しました。テーマは『誰でも済み慣れた地域で幸せに暮らそう！－強度行動障害の人の集中的支援を学ぶ－』です。

全国手をつなぐ育成会連合会佐々木桃子会長の挨拶に続き、田中正博氏（独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園理事長）より、強度行動障害に関する国の施策についての説明がありました。

基調講演『行動障害を抱える重度知的障がい者の地域生活を考える
～兵庫県強度行動障害地域生活支援事業を通して～』

講師　坊垣　勝彦 氏
（社会福祉法人あかりの家理事兼障害者支援施設あかりの家施設長）

「強度行動障害」と言ってもそれは本人が困っている状態であり、支援する側がどのようにその困りごとを取り除いてあげるかが問題なのです。家族を含めた本人を支援する人たちで長期的な支援計画を立て、寄り添っていくことが大切です。その中で他者との関わり方を学んでいきます。そして先回りの支援を通して、『しなくても済んだ！』という成功体験を積み重ねるのです。

シンポジウム「住み慣れた地域で幸せに暮らそう！
－強度行動障害の人の集中的支援－」

コーディネーター　田中　正博 氏
シンポジスト
佐藤　貴志 氏（社会福祉法人はるにれの里 札幌市自閉症者自立支援センター施設長）

札幌市では、モデル事業として「地域における強度行動障害支援のための支援体制構築」を令和５年度から実施しています。今年度は強度行動障害を抱える人への集中支援を行いました。

相浦　卓也 氏（社会福祉法人邑元会 障害者支援施設しびらき施設長）

入所施設が地域社会にあり続けるために、障害福祉の充実に向けた専門性と拠点機能の整備が必要です。また児童・高齢・生活困窮等にも対応するための地域福祉ネットワークの構築に向けた中心的役割を担っていきます。

笠井　喜世志 氏（社会福祉法人福成会 清流園・セントラル武庫所長）

「理解されない苦しみは計り知れず、それは悲しみとなり怒りとなる」そうならないように本人の自主性や自発性を増やしていく取り組みが必要なのです。

コーディネーターの田中氏は「強度行動障害者の支援については、中核的支援人材や広域的支援人材がまだ発展途上で、これからの人材の増強が望まれるところ。地域での支援の仕組み作りや教育、医療との連携も必要です」と話されました。

『手をつなぐ』を購読しませんか!!

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関紙『手をつなぐ』は、身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報です。

年間購読料は３，９００円です。

関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡お願いします。

やまゆりとの共催研修会

「親の高齢化・子の高齢化」

研修事業推進委員　　齋藤　麻子

３月４日（火）てくのかわさきてくのホールにて、やまゆりとの共催研修会を行いました。テーマは、「親の高齢化・子の高齢化」親の高齢に伴う支援の在り方についての内容で、講師は全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長の又村あおい氏でした。

朝から気温が低く午後から雪が降るとの天気予報にもかかわらず、約７５名の参加があり、関心度が高い研修会となりました。

最初にいわゆる「親なきあと」ではなく、「親の支援なきあと」という意味として考え、「漠然とした不安」ではなく、「具体的な課題」として、今から何が必要でどのようにしたら良いのかと考えていくことで、解決する方法を見つけていく、または知っておく必要があるというお話がありました。さらに、「親なきあと」を考えた時に想定される主な不安とは、「お金」と「住まい」であり、本人が暮らしていくお金、住まいの確保、そして、親としての思いをどう残すかということなど、私たちに寄り添い、分かりやすい言葉で説明して下さいました。そして、これから近い将来、様々な福祉サービスの利用や、施設やグループホーム等への入所の検討も必要となると改めて考えさせられて、とても勉強になりました。

また、当会が、障害者の地域生活支援体制の充実の徹底などについて、今後、声をあげていくべきとのご意見をいただきましたので、しっかり活動していきたいと思いました。

かわさきキャラバン隊（知的・発達障害疑似体験）講演

権利擁護委員会

２月２６日（水）幸区日吉合同庁舎（日吉分館）２階会議室にて、民生委員日吉第一地区定例会でかわさきキャラバン隊講演を行いました。参加者は２６名でした。

吉野副会長の挨拶と会の紹介に続き、３つの知的・発達障害疑似体験と朗読を行いました。時間が限られていたので、短縮版で講演しました。

アンケートでは、「この体験をしてみて障害者の困りごとが良く分かった。今までの自分の認識が甘かった。」「私たちが知らないことを気づかせてくれて感謝しています。」などの感想が寄せられました。

３月７日（金）小田小学校の福祉教育の授業で、１０時４０分~１２時（３、４時間目）かわさきキャラバン隊がオンラインで教室とつながり、知的・発達障害疑似体験講演を行いました。４年生３クラス９６名と画面越しですが、やり取りをしての疑似体験を５つ、朗読を１つ、子どもたちは熱心に取り組んでくれて、また、いろいろな意見も聞くことができました。

今回で４回目の小学校講演ですが、毎回、子どもたちの素直な思いやり、発想の面白さ、考える力に感動します。この年齢（小学生４年生）での福祉教育の大切さを実感しました。

意見や感想はとても素直で「障害者のことが少しわかった」「どのように接すればいいのかわかった」「みんな、ふつうでないのがわかった」「人って障害があっても工夫すれば分かり合えるんだ」などの声がありました。

最後に各教室から子どもたちが大きく手を振ってくれている様子が見えて、私たちかわさきキャラバン隊も元気をもらいました。

支部通信

川崎支部新春バス旅行

副会長　　加藤　敦子

令和７年１月２５日(土)新春日帰りバス旅行を実施しました。参加者は２６名でした。

朝８時に川崎市役所本庁舎前を出発。最初に立ち寄った人気スポット「道の駅常総」は、穫れたての野菜がお手頃価格で並んでいて、買い物を楽しみました。

今回の目的地である「グランベリー大地」は、いわゆる「空中いちご園」として有名です。天井からいちご棚が降りてくるのですが、棚が地面にないので足元が平らで歩きやすかったです。“とちおとめ”“いばらキッス”など７品種を堪能しました。その後、古民家風の「あすなろダイニング」で“味噌漬け陶板焼き御膳”の昼食タイム。筑波ハム直売所「つくば陣屋」では工場見学をして、ハム、チーズ、ヨーグルトの試食をしました。今後もこのような企画で、楽しい交流の時間を大切にしていきたいと思います。

新年高津支部会・懇親会

高津支部長　　三浦　ルイ子

２月５日（水）福祉パルたかつ研修室にて、『新年高津支部会・懇親会』を行いました。高津区社会福祉協議会地域課 下平課長、当会から美和会長をはじめ三役、会員を合わせて１５名の参加でした。

自己紹介や近況報告をし、子どものこれからの生活のこと・通院時の付き添いや親の高齢や病気など心配ごとは尽きません。皆さんと情報を共有したり、また役員の皆さまに、私たちの困りごとや心配ごとなどを知ってもらう機会になったと思います。

新年支部会後の懇親会は、場所を移し、味の食彩館「北海道」でお食事をいただきながらおしゃべりし、たくさん笑いました。集まって話し合えることの大切さを感じたひとときでした。これからも懇親会などを通して情報交換しながら、おしゃべりを楽しむ機会を作っていこうと思います。

２月２７日（木）てくのかわさきてくのホールで行われた、高津区身体障害者協会主催の研修会「盲導犬について知ろう！」に協力参加しました。聴力障害者・ガイドヘルパー・盲導犬協会それぞれの立場からお話されました。

健常者だと気が付かないことやそれぞれの困りこと・普段の生活などを聞き、社会の理解と促進する必要を感じました。

宮前支部茶話会

宮前支部長　　小澤　千枝

２月１２日（水）「福祉パルみやまえ」研修室にて、宮前支部の茶話会を開催しました。コロナ禍がありましたので５年ぶりの親睦会となります。三役の皆様にも出席していただき参加人数は８名でした。美和会長のあいさつのあと、参加者に近況やお子さんの様子など自由にお話しをしていただきました。

話題の中心は、やはり将来の子どもの住まいです。日中支援型のグループホームの情報や、グループホームでのトラブルの話はとても参考になり、このような情報交換の場の大切さを感じました。皆さんの願いや心配事に共感したり、自分や子どもの将来について考えたり、最後は地元の話題で会話が弾み、和やかで貴重な時間を過ごすことが出来ました。

多摩支部懇親会

多摩支部長　　神田　明子

３月１４日（金）多摩支部の懇親会を登戸日本料理「柏屋」で行いました。役員を含め９名の参加でした。

春のレクリエーションでの楽しかった出来事や、３月４日の又村さんの講演会の感想などの話から始まりました。

後半は、選択肢が広がってきた子どもたちの住まいに関する思いや、軽度の方の医療費についての要望の話も出ました。

子どもがグループホームや入所施設にいらっしゃる方々からは、現在の様子のほか、食事や費用など細かいお話を聞くことができました。

当日は春らしい陽気で天気にも恵まれ、多摩川の穏やかな景色を眺めながら気兼ねなくおしゃべりを楽しむことができて、ぜいたくな時間を過しました。

麻生支部あさお語ろう会

麻生支部　　熊谷　百合子

３月２７日（木）、特定非営利活動法人ぶらりば『コミュニティカフェりあん』で「あさお語ろう会」を開催しました。

「弁当弁」のおいしいお弁当と手作りシフォンケーキをいただきながら、５人で近況報告や情報交換を行いました。

年に数回のランチ会ですが、顔を合わせる時間があることは本当にいいことだと実感しました。家族、子どもの行く末についてはみんなが案じることです。

最新のグループホーム情報や親の健康状態や病気についてなど、話は尽きません。いろいろ不安に感じながらも、こうして会える仲間がいることで対策を考えるきっかけになります。限られた時間ですが、食事をしながら「語ろう」の会は貴重な機会です。

次回はちょっと先ですが９月に行います。

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の会員様へ

障害のある方とそのご家族をワイドにお守りする保険です

手をつなぐがん保険

なぜ障害のある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？(※)

(※) ぜんち共済お客様アンケートより

加入できます！

右記動画の中で、前会長の久保顧問とぜんち共済代表の榎本が「手をつなぐがん保険」への思いについて対談しています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もございます。ぜひご覧ください！！

動画はこちら▶

https://youtu.be/fEq9QDNV6wM

手をつなぐがん保険 3つの特長

1 代理手続き代理告知が可能 障害のある方向けプラン

2 告知対象疾患の緩和 障害のある方向けプラン

3 “親なきあと”に備える補償 障害のある方のご家族向けプラン

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

Z011-2409R10

関東財務局長(少額短期保険)第14号

ぜんち共済株式会社

〒102-0073　東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

平日10時～16時 / 土日・祝日・年末年始を除く

URL：https://www.z-kyosai.com/

[引受保険会社]

東京海上日動火災保険株式会社

東京都千代田区三番町 6-4

TEL：03-3515-4126 / 営業時間：平日９時～１７時

WEB からも資料請求できます！

資料請求フォーム

この広告は「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済までお問い合わせください。

田島支援学校障害基礎年金学習会

副会長　　加藤　敦子

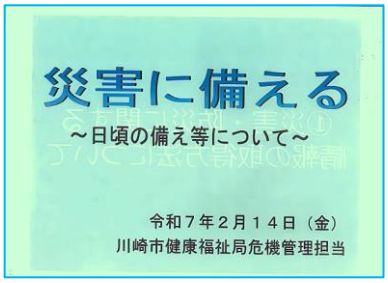
令和７年１月２１日（火）川崎市立田島支援学校主催の進路学習会にて、障害基礎年金についての講演を行いました。参加者は保護者５７名と教員数名。小中学部の保護者も参加しており、関心の高さがうかがえました。

持ち時間の都合で『障害基礎年金の基本の「き」の解説』のみDVDを観てもらい、口頭で補足説明をして質疑応答でした。時間ギリギリまで途切れることなく質問が出ましたが、今回も診断書を書いてもらう病院や医師についての質問が多かったです。

終了後、先生から「知らないことが多く、大変勉強になりました。教員対象の研修も考えたいと思います」と言っていただきました。様々な立場の方に障害基礎年金のことを知ってもらえるよう、今後も学習会をやっていきたいと思います。

障害者団体部会リーダー研修会

副会長　　加藤　敦子



令和７年２月１４日（金）川崎市社会福祉協議会障害者団体部会のリーダー研修会が開催されました。今回のテーマは「災害時の避難の現状」、講師は川崎市健康福祉局総務部危機管理担当課長の土谷豊氏です。

市内でも、南部は河川の氾濫や津波、北部では土砂災害など、地域により状況が異なるので、個々に正しい情報を得ることが必要です。また、二次避難所の開設や運用、個別避難計画など、今後の課題についても説明がありました。

講演の後は、４つのグループに分かれて情報交換を行いました。個別避難計画の進捗状況や避難場所について不安に感じている方は多いようです。また、障害種別により必要な支援や備えが違う難しさもあります。

一番重要なことは、自分自身が日頃から災害に備える“自助”ですが、併せて川崎市や地域がお互いに助け合えるシステムを整備できるかが大切であると感じました。

私たちの広場「料理教室」

（ボランティアチーフ　　大橋　和之）

２月２３日（日）、てくのかわさき５階調理実習室にて川崎市栄養士会から濱谷先生をお招きし、１１人で料理教室を実施しました。

今回のメニューはフレンチトーストとポトフで、参加者は包丁を使った皮むきや具材の下ごしらえなど、調理工程に積極的に取り組んでいました。フレンチトーストは卵液がよく染み込み、ふんわりとした仕上がりとなり、ポトフは豊富な具材が煮込まれて味わい深い一品となりました。

参加者にとっては、普段の生活では経験しづらい調理作業に触れる貴重な機会になったと感じています。今後も安全に配慮しながら、実践的な経験を積むことができる活動を継続していきたいと考えています。

「第５２回　かわしん ふれあい市場」開催のお知らせ

【日　時】令和７年５月１６日（金）１０：００～１５：００
【場　所】川崎信用金庫本店　１階ロビー

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和７年１月２１日～令和７年４月２２日まで》

＜各種会議、行事＞

１月２５日（土）	川崎支部日帰りバス旅行	茨城県グランベリー大地
２９日（水）	第５回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
２月　４日（火）	第４回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
５日（水）	高津支部新年高津支部会・懇親会	福祉パルたかつ
１０日（月）	三役会議	オンライン
１２日（水）	宮前支部茶話会	福祉バルみやまえ
２１日（金）	第８回運営委員会	オンライン
２６日（水）	かわさきキャラバン隊講演（日吉第一地区民生委員委員）	日吉分館
２８日（金）	三役会議	オンライン
３月　１日（土）	春のレクリエーション	山梨県ハーブガーデン他
４日（火）	やまゆりとの共催研修会	てくのかわさき・てくのホール
７日（金）	かわさきキャラバン隊講演（川崎市立小田小学校）	オンライン
１１日（火）	第４回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
１３日（木）	第３回権利擁護委員会	オンライン
１４日（金）	多摩支部懇親会	日本料理「柏屋」
１８日（火）	第９回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
２６日（水）	川崎市予算要望回答	川崎市役所
４月　９日（水）	令和７年度第１回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
１１日（金）	三役会議	
１４日（月）	令和７年度第１回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」＆オンライン
２２日（火）	令和７年度第１回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
＜対外行事＞		本庁舎
１月２１日（火）	川崎市立田島支援学校進路学習会（障害基礎年金）	川崎市立田島支援学校
２２日（水）	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	地域福祉施設「ちどり}
２７日（月）	川崎市立中央支援学校運営協議会	川崎市立中央支援学校
２８日（火）	二十歳を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり}
３１日（金）	全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護セミナー	オンライン
２月　４日（火）	川崎市社協障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
１４日（金）	川崎市社協障害者団体部会研修会	川崎市総合福祉センター
１７日（月）	川崎市障害者施策審議会	川崎市役所本庁舎
１９日（水）	全国手をつなぐ育成会連合会関東甲信越ブロック代表者会議	オンライン
２０日（木）	障害者支援区分認定審査会	オンライン
２０日（木）	川崎市障害者作品展実行委員会	川崎市教育文化会館
２５日（火）	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
３月　５日（水）	三団体会議	地域福祉施設「ちどり」
７日（金）	川崎市立中央支援学校卒業式	川崎市立中央支援学校
７日（金）	川崎市立田島支援学校卒業式	川崎市立田島支援学校
１１日～１５日	全国手をつなぐ育成会連合会代表者・事務局会議	オンライン
１１日（火）	川崎市障害者社会参加推進協議会	川崎市教育文化会館
１３日（木）	あんしんセンター業務監督審議会	川崎市総合福祉センター
１７日（月）	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
１９日（水）	川崎市地域自立支援協議会	川崎市役所本庁舎
２１日（金）	障害者支援区分認定審査会	オンライン
２５日（火）	川崎市福祉有償運送協議会	川崎市役所本庁舎
２６日（水）	やまゆり知的障害児者生活サポート協会	神奈川県社会福祉センター
２６日（水）	川崎市社会福祉事業団評議員会	法人本部
２７日（木）	育桜福祉会評議員会	法人本部
２８日（金）	川崎市高齢者・障害者施設従事者等虐待防止に係る検討会	川崎市役所本庁舎
３月下旬～５月１８日	２０２４年度育成会フォーラム＆行政説明会	オンライン
４月　７日（月）	川崎市立中央支援学校入学式	川崎市立中央支援学校
７日（月）	川崎市立田島支援学校入学式	川崎市立田島支援学校
１４日（月）	啓発キャラバン隊研修会・選挙・投票における合理的配慮について	オンライン
１７日（木）	障害者支援区分認定審査会	オンライン

寄付	滝本　美津江	５，０００円	匿名希望	５，０００円
	吉野　謙二	５，０００円	匿名希望	２，７００円　（敬称略・順不同）

春のレクリエーション「ハーブガーデン旅日記」と「見晴し園いちご狩り」

余暇活動委員長　　安達　ゆかり

３月１日（土）参加者７１名、福祉バス２台で春のレクリエーションを開催しました。バスは快走し、「山梨県 FUJI フルーツパーク」には予定より早く到着し、早めの昼食になりました。「信玄鶏五目せいろ御膳」は蒸したての野菜とお肉が柔らかく、とても美味しかったです。

次に「ハーブガーデン旅日記」では、２班に分かれガイドさんの説明を聞きながら、胡蝶蘭やかわいいハーブの花を見て庭園を回りました。最後に桃の紅茶やブルーベリージュースを試飲しました。その後、「桔梗信玄餅工場テーマパーク」に行き、それぞれに工場見学やお買い物をして「見晴し園いちご狩り」へと向かいました。

園に到着後、ハウスへ移動しました。いちごを摘んで食べたり、テーブルに並んだいちごに、チョコレートやミルクかけて食べました。ある方が「６０個、食べました」と話されて、とても驚きましたが満足そうな笑顔が可愛らしくて印象的でした。

海水訓練のお知らせ

日時:令和７年７月１６日（水）
場所:ホテル三日月シーパーク勝浦「スパドーム・アクアパレス」
＊詳しくは、チラシを参照してください。

編集後記

５月１日発行の２１６号は、会員のみではなく市内特別支援学校の方々にもお配りしています。３月講演会講師の又村あおい氏に寄稿していただき、行政説明会、春のレクリエーション、かわさきキャラバン隊の活動報告などたくさんの情報を記事にすることができました。今年度もよろしくお願いいたします。　　(神田　明子)

【も　く　じ】

Ｐ．１･･･寄稿　全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長　又村あおい氏
Ｐ．２･･･寄稿続き/やまゆり広告
Ｐ．３･･･令和７年度川崎市への施策要望回答について／第１３回総会のお知らせ／令和７年福祉大会開催のお知らせ
Ｐ．４･･･２０２４年度育成会フォーラム
Ｐ．５･･･全国手をつなぐ育成会連合会「令和６年度正会員代表者・事務局長合同会議」報告／２０２４年度行政説明会
Ｐ．６･･･第１５回全国手をつなぐ育成会　権利擁護セミナー（in兵庫）／「手をつなぐ」購読
Ｐ．７･･･やまゆりとの共催研修会／かわさきキャラバン隊講演
Ｐ．８･･･支部通信 川崎支部新春バス旅行／新年高津支部会･懇親会／宮前支部茶話会
Ｐ．９･･･多摩支部懇親会／麻生支部あさお語ろう会／ぜんち共済広告
Ｐ．10･･･田島支援学校障害者基礎年金学習会／障害者団体部会リーダー研修会／私たちの広場/第５２回かわしんふれあい市場のお知らせ
Ｐ．11･･･活動報告／寄付
Ｐ．12･･･春のレクリエーション／海水訓練のお知らせ／編集後記／もくじ

編集担当
三浦ルイ子
安達ゆかり
木村益美
加藤敦子
梅田順子

発行責任者　川崎市育成会手をむすぶ親の会　会長　美和　とよみ
〒213-0011　川崎市高津区久本3-6-22　地域福祉施設「ちどり」
TEL：044-812-2966　FAX：044-813-1216　http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki